

スキルチャンピオンシップ 2018

Skill Championship 2018

実施要領



ボーイスカウト奈良県連盟

1. 目的

スキルチャンピオンシップ 2018 は、スカウトスキルを用いた競技大会を企画・実施することにより、各隊での技能訓練を促進し、スカウトスキルの底上げを図ることを目的とする。

2. 行事名称

スキルチャンピオンシップ 2018 (Skill Championship 2018 略称：SCS18)

3. 日程

平成30年 3月25日(日) 9時00分～16時00分 (小雨決行)

当日受付： 9時00分～12時00分

競技実施： 9時30分～16時00分 (受付が終わり次第、順次開始)

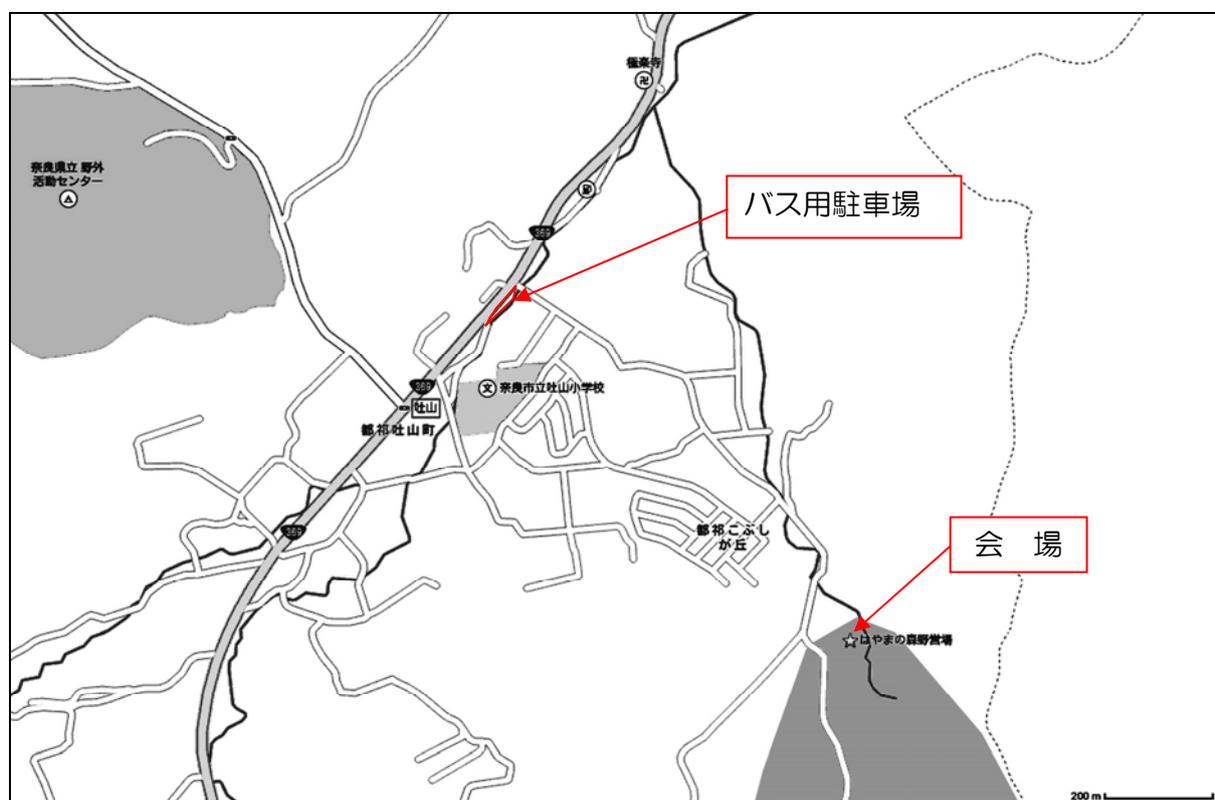
※競技大会後の表彰式は実施せず、4月29日の県連大会式典前に実施いたします。

※隊指導者の皆様には、競技時間の分散化にご協力いただけますようお願いいたします。

4. 会場

ボーイスカウト奈良県連盟 はやまの森 野営場 (旧奈良県野外活動第2センター)

※隊員輸送、資材搬入等の車両については、場内に駐車できません。バス用駐車場を利用してください。



会場位置図

5. 参加対象

参加対象は、奈良県連盟に所属するボーイ隊の班単位およびカブ隊の組単位とする。
(事前申込制)

※BS班の人数は3～8名であること、CS組の人数は3～9名であること

※隊内や他団との合同班、合同組での参加も認める

6. 参加に関する費用

スカウトの参加費 一人当たり 200円

※はやまの森利用料を含む

※参加費は、当日の受付で隊員数に応じ、現金で徴収する

7. 参加の事前申込み

事前申込期間：平成30年 1月 9日(月)～ 3月 9日(金)

事前申込方法：隊長が本実施要領に添付の申込用紙に必要事項を記入し

下記までメール又はFAXすること。

〒632-0016 奈良県天理市川原城町53-3 ことぶきビル3F

TEL：0743-25-3996 FAX：0743-25-8212

e-mail：office@nara-scout.org

8. 競技内容

次ページに競技種目、ルール等について添付する。

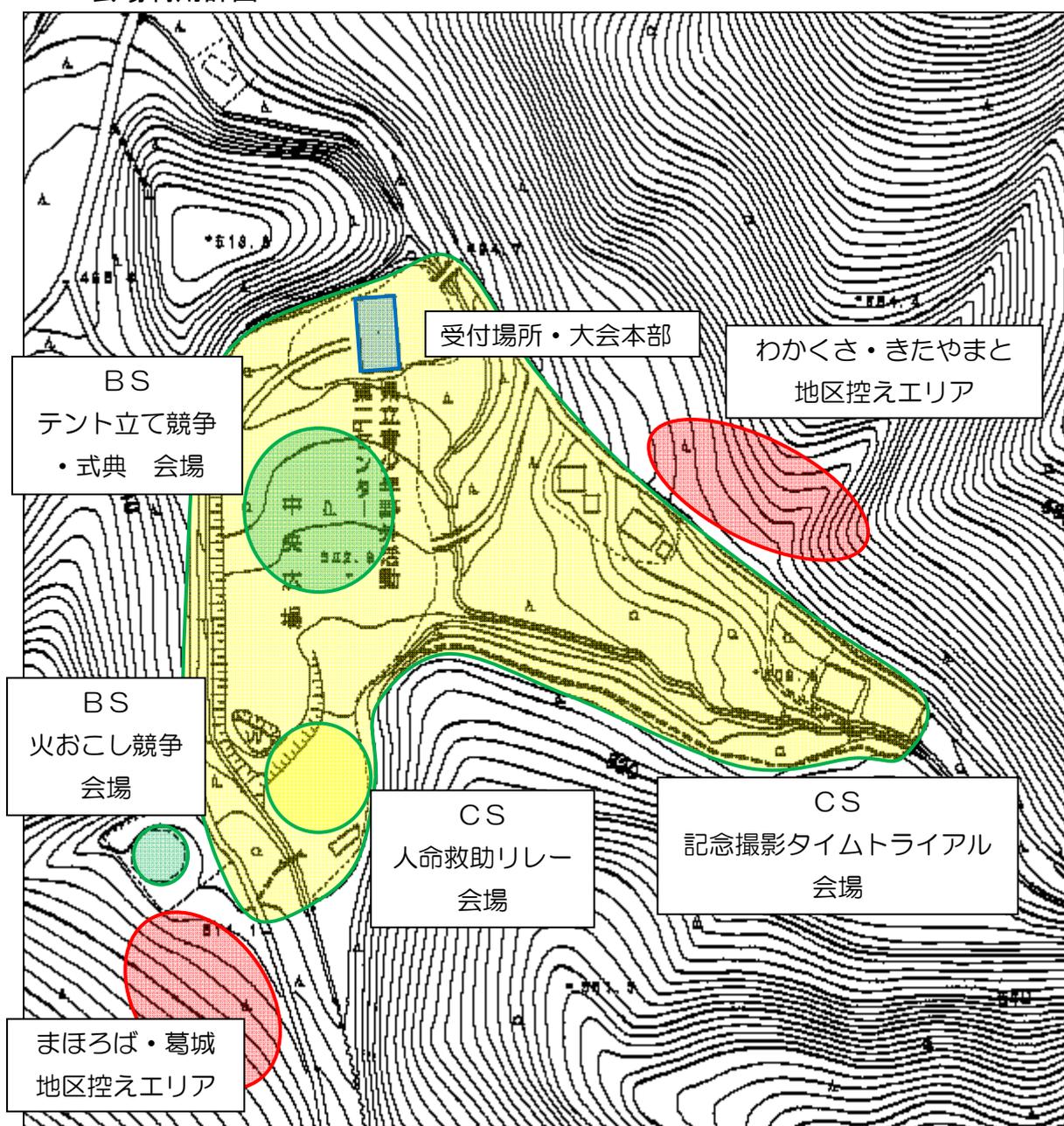
9. 表彰について

それぞれの競技について、結果に基づき下記の通り表彰するが、表彰式は4月29日に実施される県連大会の式典前に行う。

優勝	表彰状、盾、班旗綬（または組旗綬）
第2位	表彰状、盾
第3位	表彰状、盾
第4位	表彰状
第5位	表彰状

また、全ての競技結果については4月中旬までに県連のホームページにおいて公開する。

10. 会場利用計画



1 1. 安全管理・健康管理

○安全管理

参加スカウトは必ず班・組として行動すること。

参加スカウトは隊指導者の指導のもと、班長・次長、組長を中心に安全の三原則を厳守しなければならない。

- 【安全の三原則】
- ・自分の安全は自分で守る
 - ・ルールを守る
 - ・安全を最優先にする

なお、競技参加に際しては、競技担当者の指示に従うこと。

1 2. 競技の審判員について

公平な競技運営を行うため、各競技の審判員については、下記の通り事前勉強会を行うものとする。（審判として奉仕するスタッフは原則として全員参加する）

勉強会日程 平成30年 3月 10日（土） 13時00分～15時30分

場所 はやまの森野営場

- 内容
- ・競技の基本ルール
 - ・審判の役割
 - ・失格等の基準
 - ・安全管理

1 3. 隊指導者へのお願い

当日の競技実施に際して、競技担当者や審判から技能指導を行うことはありません。
また、競技中に隊指導者が手伝う行為については失格にいたします（声かけ指導については認めます）。

各隊指導者の皆様には、隊員を競技に参加させるに当り、必ず事前に技能訓練を実施していただけますようお願いいたします。

また、当日に控えエリアで練習をすることは認めますが、控えエリア内での場所割り等はこちらで行いませんので、各隊で譲り合って使用してください。なお、練習用の競技資材について貸し出しすることはありませんので、練習をする場合は各隊で資材等を持ち込んでいただけるようお願いいたします。

スキルチャンピオンシップ2018 参加申込書

奈良県連盟 _____ 地区 _____ 第 _____ 団 _____ 隊 _____

参 加 班		
班 名 又 は 組 名	班・組の人数	備考（他団との合同班等）

隊長氏名： _____

(BS部門) テント立て競争

(ルール)

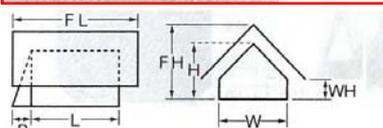
- ・ 県連が貸し出す日本連盟A型テント8人用を規定通りに立てるまでの時間を競う。
- ・ 貸し出される資材は以下のとおり。全ての資材を使用すること。

テント本体	1 張	グラウンドシート	1 枚
テント用ポール (柱)	2 本	セットハンマー	2 本
テント用ポール (梁)	1 本	ペグ (大)	8 本
フライシート	1 張	ペグ (小)	28 本
フライ用ポール	2 本	※張綱はテントに付属	
- ・ 競技開始前に、必ず貸出物品の確認を行う。
- ・ 計測する時間は、審判の出すスタートの合図から作業終了後にテント前に整列するまでの時間とする。(必ず作業開始時、終了時は整列すること)
- ・ テントを立てる手順は審査、指導しない。ただし、作業を継続すると資材が破損する恐れがある場合はその時点で審判が失格を宣告する。
- ・ 作業制限時間は20分。作業制限時間内に立てられなかった班は失格となる。
- ・ 作業が終了し時計を止めた後、審判の点検を受ける。
- ・ 審判の点検により、不備があった場合は、項目に応じたペナルティを加算する。
(点検項目およびペナルティの値は点検表参照)
- ・ ペナルティを加算することで20分を超えた場合の記録は失格としない。
- ・ 点検が終了し記録が確定した班から、すみやかにテントを撤収し元の状態に戻す。
- ・ 1 班の編成は、必ず3～8名とする。
- ・ 1 班につき1 回のみチャレンジできる。



A 型テント 仕様 / A-Tent Prices and Specifications

品名 / Product Name	サイズ / Size(cm)							重量 / Weight (カヤ含む / including mosquito net door)	ポール / Poles		ペグ / Pegs		ピン / Pins		金槌 Hammer
	H	L	W	WH	R	FH	FL		ジョイント Posts	リッジ Ridges	400	270	200	370	
A 型テント 8 人用 / A-Tent 8 Berth	182	273	227	45	90	182	454	25.1kg	(182) 4	(273) 1	8	28	20	12	2



※ピンペグは競技では使用しない

テント立て競争 記録表

スキルチャンピオンシップ 2016

地区 第 団 ボーイスカウト隊

班 名

テントを立てた時間		分	秒
全ての資材が使用されているか？ (不使用の個数に対してペナルティ加算)		個	秒
支柱、リッジポール（はり）が正しく接続されているか？			秒
支柱が本体の所定の位置（差込穴）に接続されているか？			秒
支柱がフライの所定の位置（差込穴）に接続されているか？			秒
テントの入り口のチャックが下まで閉まっているか？			秒
グランドシートの所定の位置に支柱が置かれているか？			秒
全てのペグに張り綱がかかっているか？			秒
点検結果を考慮した記録		分	秒

※ 点検項目 1 項目につき、20 秒が加算される。(資材の不使用のみ個数×20 秒)

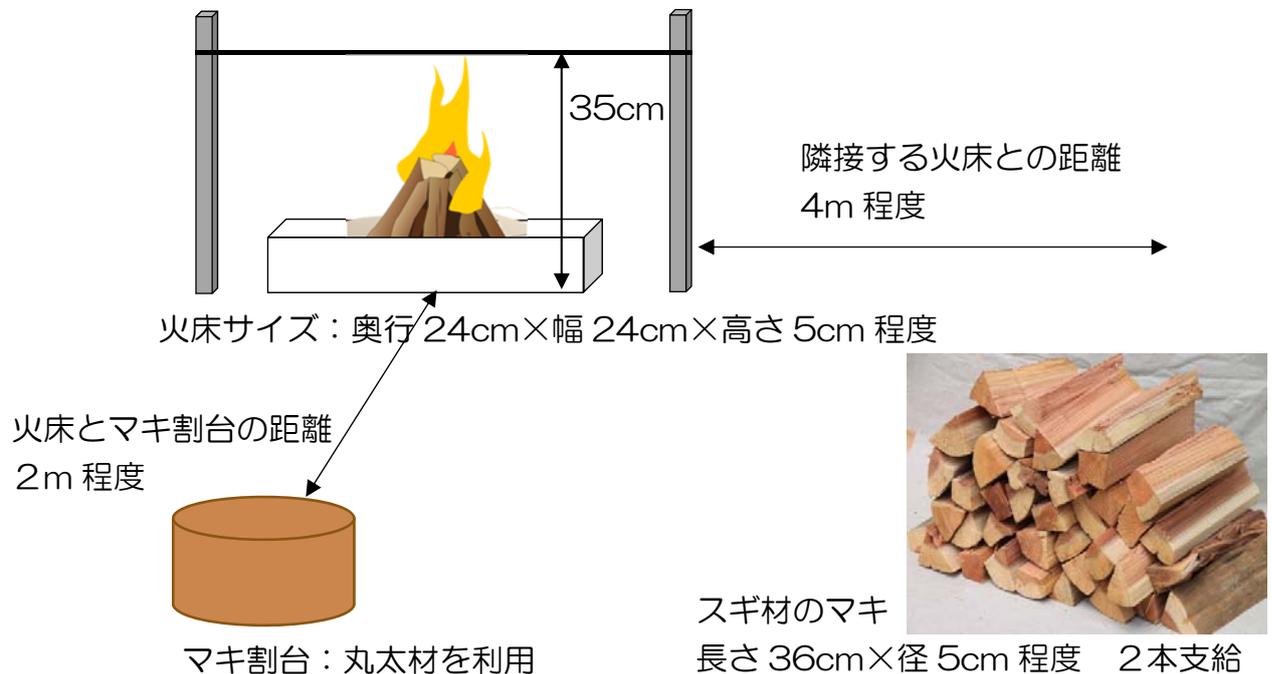
点検・記録担当者：

(BS部門) 火おこし競争

(ルール)

- 貸し出された資材およびマキ、マッチ等を使用して、火床から高さ 35cm に設置された麻ひもを焼き切るまでの時間を競う。
- 貸し出される資材等は以下のとおり。

火床 (一斗缶加工品)	1 個
ナタ	1 本
マキ割台	1 個
マッチ	3 本 (+3 本)
風防用ダンボール (45cm×45cm)	3 枚
- 貸し出される資材以外で使用しても良いのは、班員のナイフ (2 本まで) のみ。
- 競技開始前に、必ず貸し出される資材および使用するナイフの確認を行う。
- 計測する時間は、審判の出すスタートの合図から麻ひもを焼き切るまでとする。
- 使用するマキは長さ 36cm、径 6cm 程度のスギ (又はヒノキ) 材 2 本とする。
- 燃料には支給するマキのみを用い、火付けには支給したマッチのみを用いる。
- 支給するマキ、マッチは使い切らず残してもよい。
- 作業中は、手や足、マキ、マッチ、ナタ等の道具が麻ひもに触れてはいけない。
- 作業制限時間は 15 分。制限時間内に焼き切れなかった場合、その他ルール違反と判断された場合はその時点で失格となる。
- マッチを 3 本使い切った場合、ペナルティタイム (3 分/本) を加算することで追加マッチを使用できる。(追加マッチは最大 3 本まで)
- 麻ひもが焼き切れて記録が確定した、又は失格と宣告された段階で、すみやかに消火し、資材を元の場所へ戻す。
- 1 班の編制は、必ず 3~8 名とする。
- 1 班につき 1 回のみチャレンジできる。



(CS部門) 記念撮影タイムトライアル

(ルール)

- この競技は、エリア内に置かれたマスコット（キャラクター）と記念撮影をして戻ってくるまでの時間を競うタイムトライアルハイキングである。
- 参加する組は、必ず組に1台のデジタルカメラもしくは、カメラ機能付きスマートフォンを携帯して競技にのぞむ。
- 定められたエリア内に配置されたマスコットのうち、定められた送信機に反応するマスコット4体と記念写真を撮影する。
- スタート直前に、記念撮影をとるマスコットを探す送信機を決定する。
- 送信機が決まれば、組員全員でリング付きロープを持ち、審判員の合図でスタートする。（このとき、審判員がスタート時刻を記録する）
- リング付きロープは、ハイキング中、常に組員全員で持つこと。ただし、記念撮影をとる時に限り、カメラマンはリング付きロープを離れることができる。
- リング付きロープを離して移動していることが判明した場合は、その組を失格とする。
- 正しい4体のマスコットと記念撮影を撮り、スタート位置まで戻ったら、審判員に団名と組名を告げて到着時刻を記録してもらう。
- 違うマスコットと記念撮影している場合や、全員が写っていない場合、マスコットが見つけれなかった場合は、ペナルティがかせられる。
- 到着時刻を記録した後で、記念撮影した写真を審判員に見せ、ペナルティの有無を判定する。
- 1組の人数は3名～9名とし、必ず指導者（保護者も可）が1名、組につきそう。ただし、組につきそう指導者もリング付きロープを持つこと。
- カメラマンについては、必ず組に1名を専任する。カメラマンは、隊員、指導者のどちらでもよいが、ハイキング中の交代は認めない。
- 撮影した写真には、マスコットとカメラマン以外の全ての組員が写っていること。
- 制限時間は45分間。到着時間が制限時間を超えると失格とする。（ペナルティタイムにより制限時間を超えた場合はその記録を有効とする）
- 1組につき、1回のみチャレンジできる。



(CS部門) 人命救助リレー

(ルール)

- この競技は、救助用の浮きを作成し、前方のバーに届くように投げて帰ってくることを3回繰り返すまでの時間を競うものである。
- 浮輪3本と4mロープ6本については、貸し出されたものを使用する。
浮輪：単車用タイヤチューブ 2.50/2.75-10 TR-4
- 3人一組になってスタートし、結びラインの前で下図のとおり、救助用の浮きを作成する。
- 救助用の浮きができたら、前方のバーまで浮きを投げてひっかける。このとき、手元側のハの字結びを必ず、結びラインの内側に残すこと。
- ハの字結びが結びラインよりも前にでた場合は、ハの字結びを引っ張ってラインの内側まで戻す。
- 浮きがバーに引っかからなければ、引き戻して引っかかるまで繰り返し投げる。
- 浮きがバーに引っかかれば、スタートラインまで戻って次の組と交代する。
- これを3回繰り返し、最後の組が全員スタートラインに戻った時には、全員で「かけ声」をかけてゴールとなる。
- 1チームの編成は、3名～9名（最大9名）。チームの全員参加が参加すること。
- 制限時間は15分間。これを超えると失格とする。
- 次の組への交代は、その組の最後の組員がスタートラインに入った時点とし、審判が「フライング」と判断した時は、スタートラインまで戻って再スタートする。
- 1チームにつき、1回のみチャレンジできる。

